

令和6年1月12日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

神奈川県ボランティア活動推進基金審査会
会長 中島 智人

令和6年度実施分ボランティア団体成長支援の対象となる取組の
決定について（答申）

令和5年9月15日付け県サ第1233号をもって諮問のあった標記について、
別紙のとおり答申します。

(別紙)

令和6年度実施分ボランティア団体成長支援の対象となる取組の決定について

1 選考した事業

受付番号 6-5-2

団体名 特定非営利活動法人森ノオト

事業名 組織基盤を見直すパブリックリレーションズ構築支援

2 選考日

令和5年12月13日(水)

3 審査会のコメント

団体の地域メディアの専門性を発揮した提案であること、また、広報活動を見つめ直すことで、ボランティア団体の組織内部の意思疎通や組織課題の解決につながることを通して組織基盤を整備することを評価しました。さらに、支援対象団体への直接的な成長支援だけでなく、ボランティア団体の「初期アウトカム」のビジョン策定を県内の中間支援組織に移転していくことが、広くボランティア団体の成長を支える県内の支援環境の充実につながる提案となることを期待して、採択しました。R6年度事業においては、R5年度に実施している「パブリックリレーションズ・サポート・プログラム」の実績や課題を踏まえ、事業に取り組むことを期待します。

ただし、事業終了後の中間支援組織へのノウハウの移転については、既に本事業への参加が想定されているような支援力のある中間支援組織だけではなく、広く県内の中間支援組織を対象とできるのかが懸念されます。テキストの作成や印刷物のオープンソース化、報告書の作成と提供にあたっては、県内の中間支援組織が本事業の成果を活用してボランティア団体の「初期アウトカム」の支援ができるよう工夫してください。

支援対象団体の募集に際しては、中間支援組織のメルマガなどを活用するという説明がありましたが、中間支援組織にはつながっていない団体にも情報が

届くような募集方法を検討してください。

本事業終了後は、県内ボランティア団体が、それぞれの地域の間支援組織から「初期アウトカム」にかかわる支援を受けることができ、さらに必要に応じて広報の専門性を持った団体からの支援につながり、ボランティア団体の支援環境が充実するよう期待します。